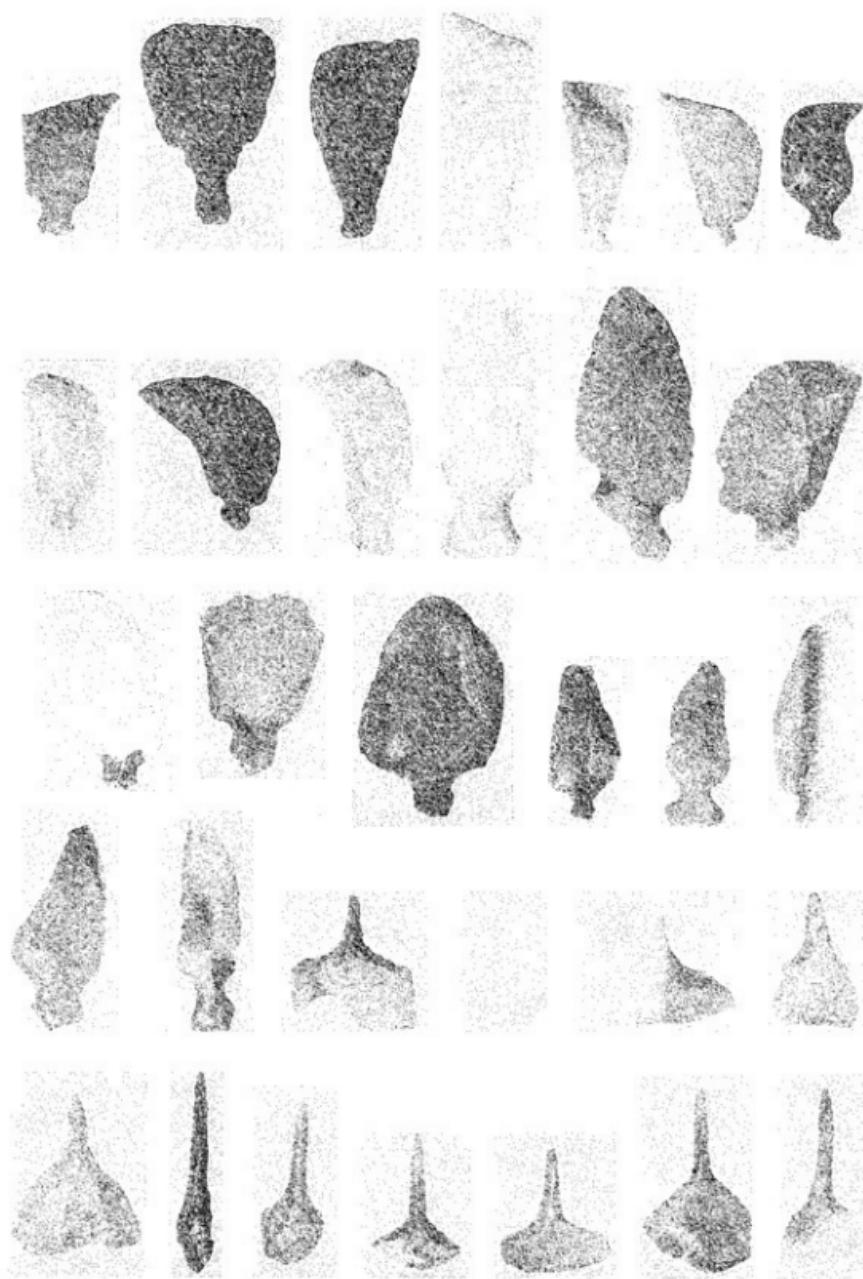
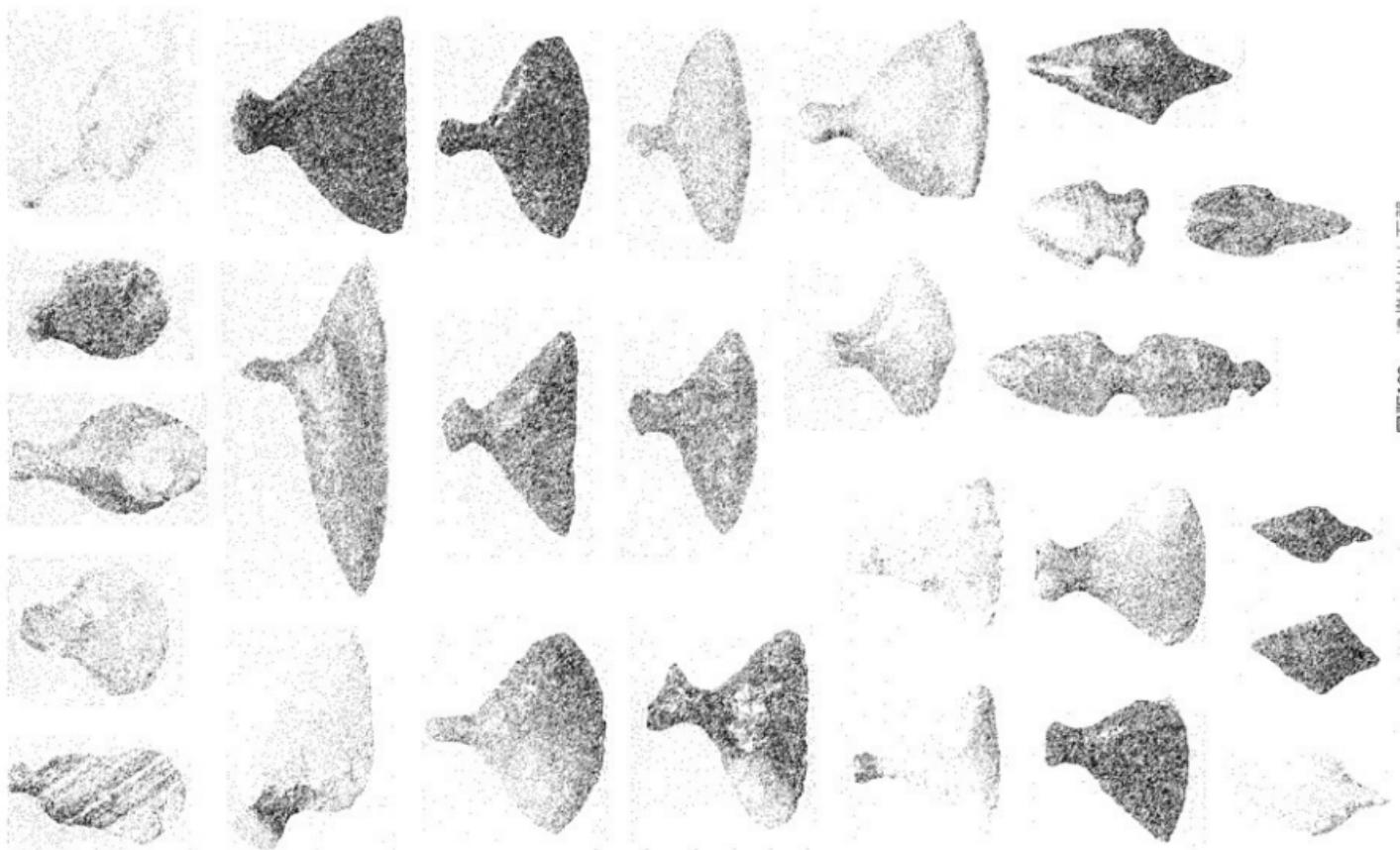
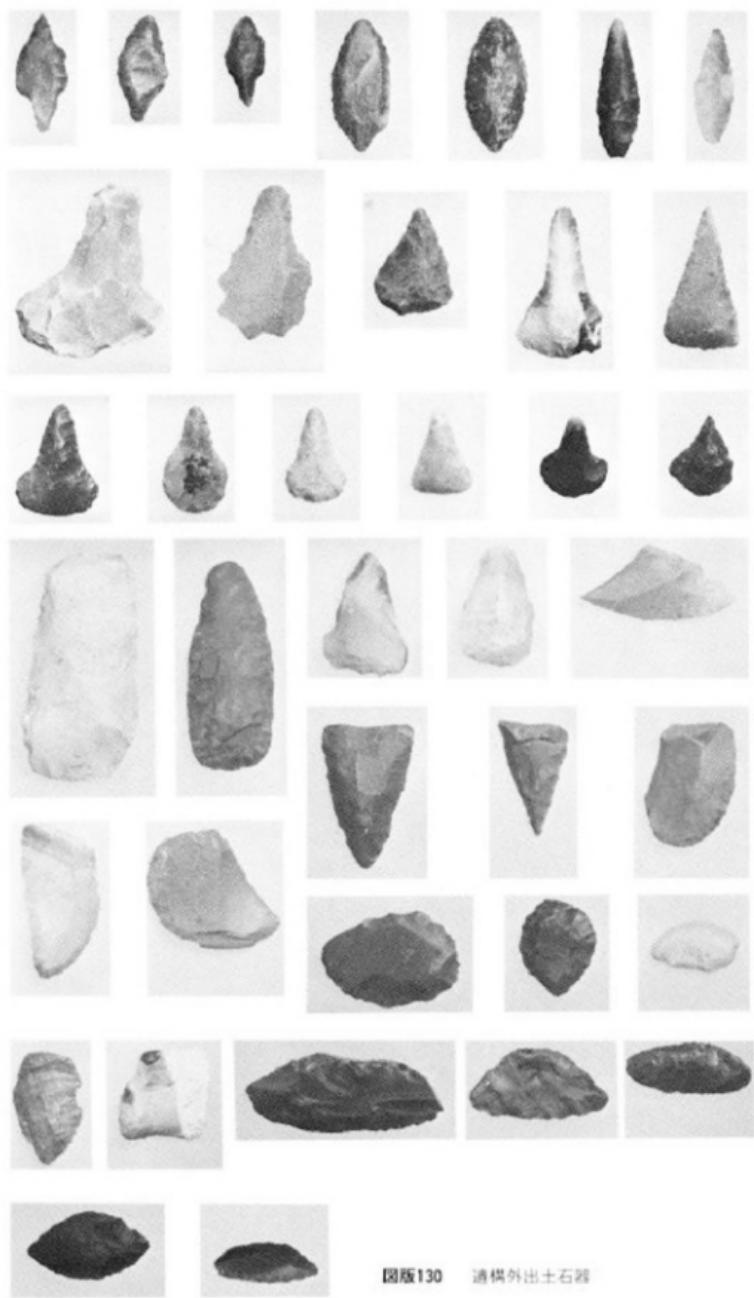


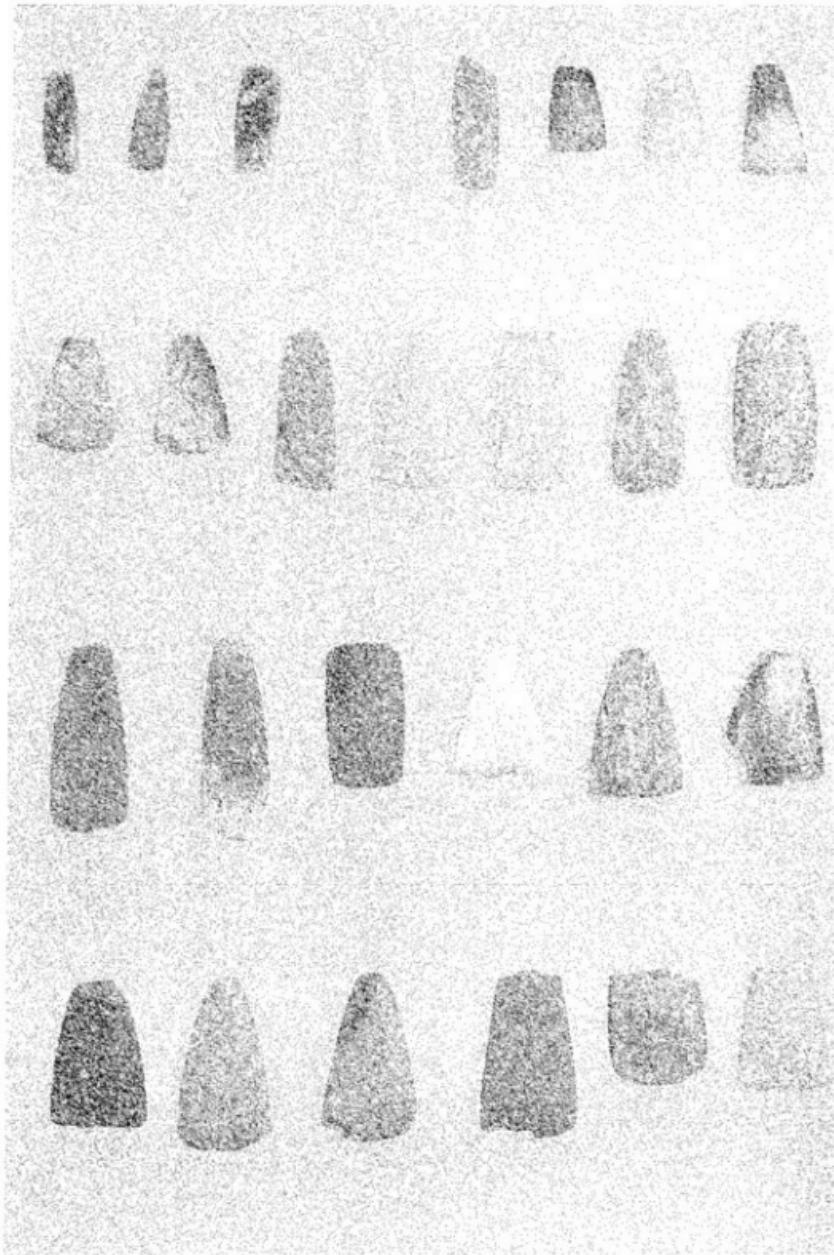
図版127 通横外出土石器





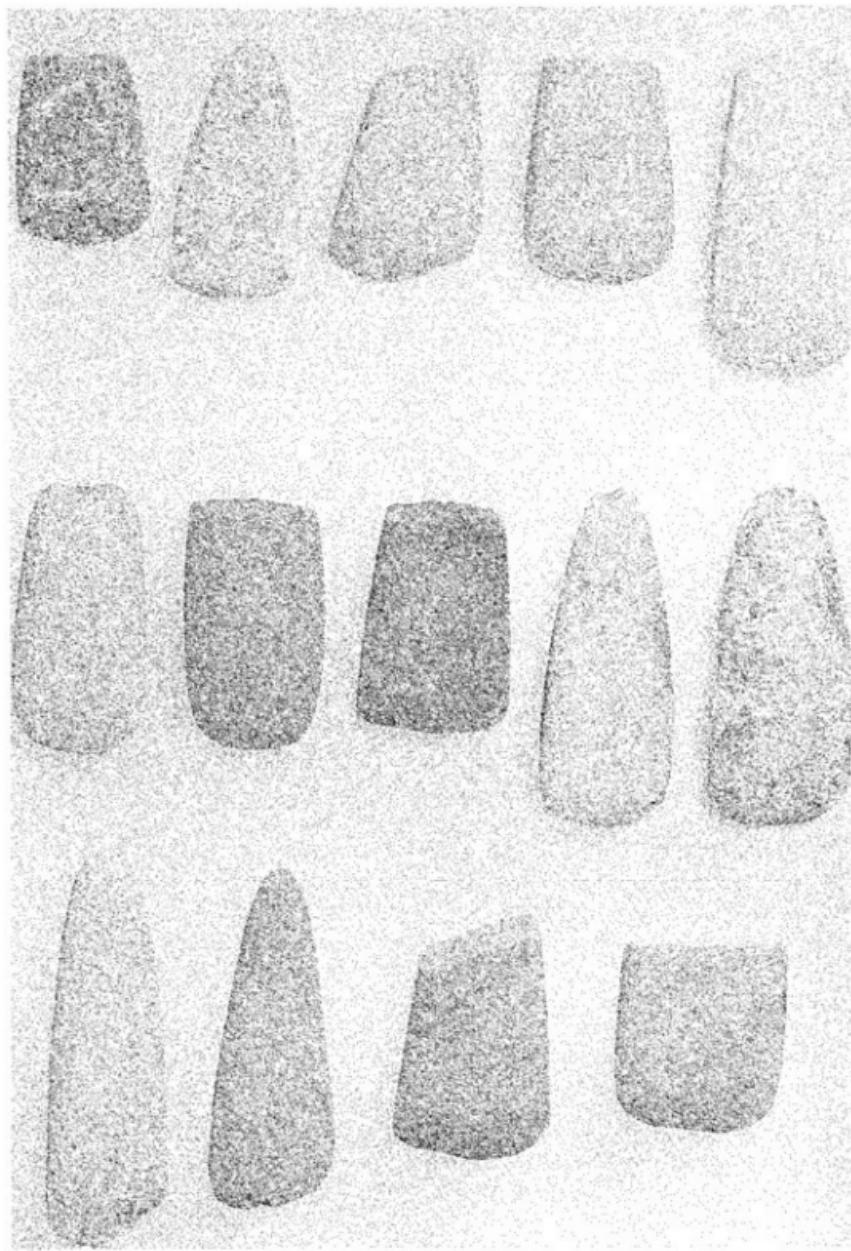


图版130 通模外出土石器

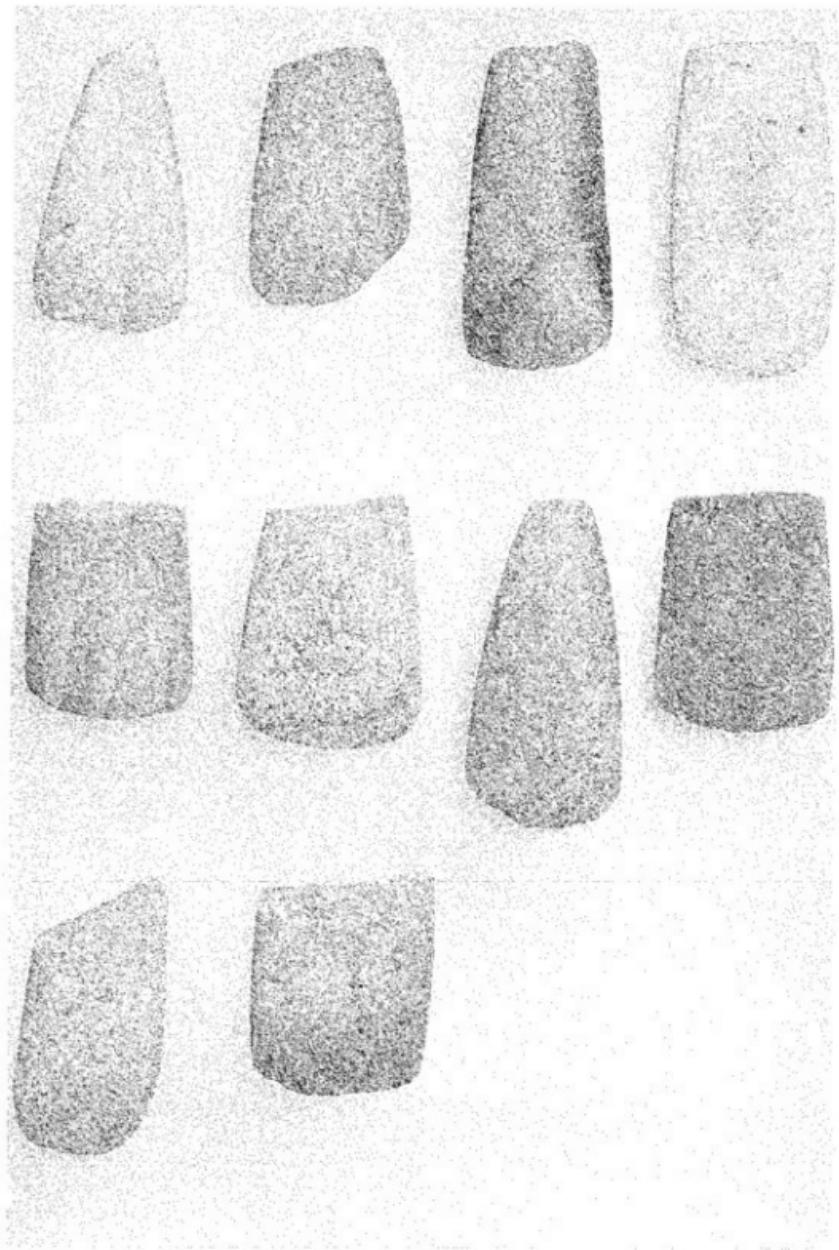


圖版131 遺構外出土石器

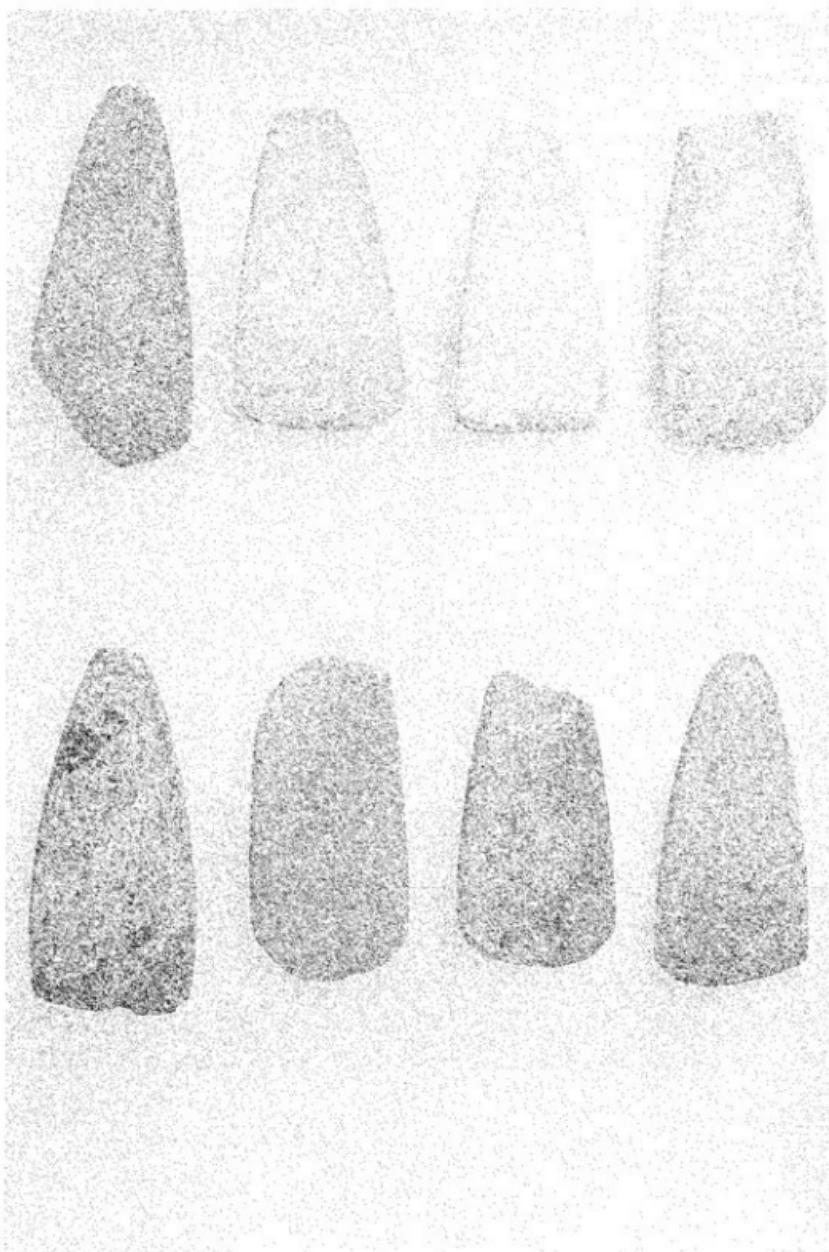




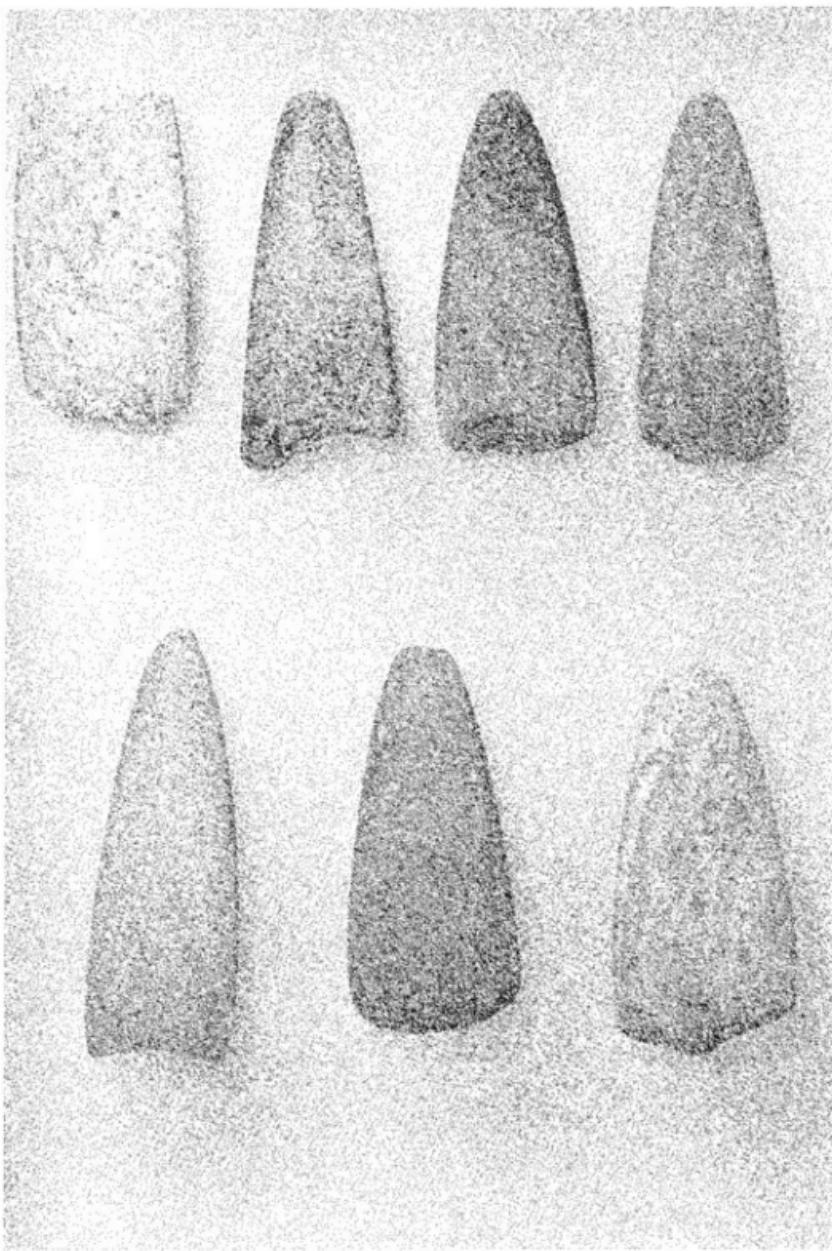
圖版133 遺構外出土石器



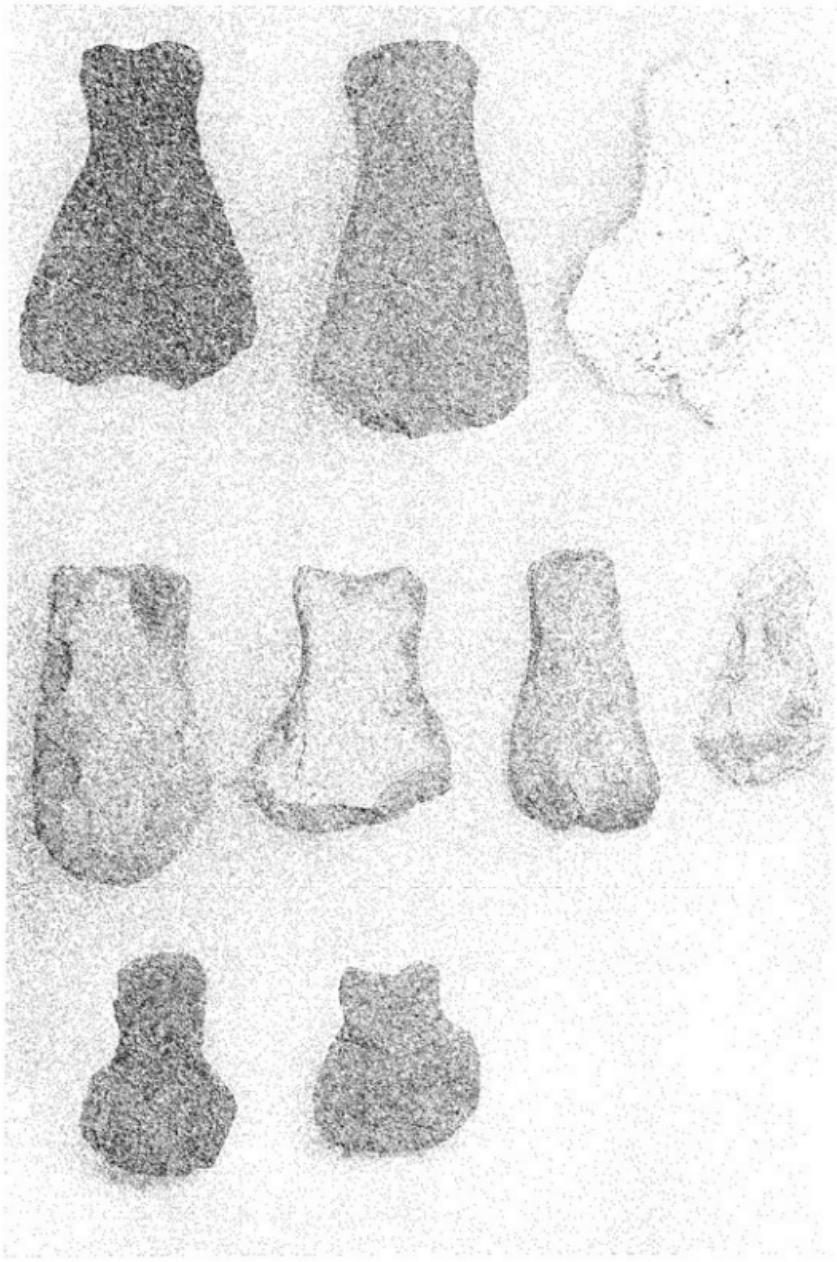
圖版134 遺構外出土石器



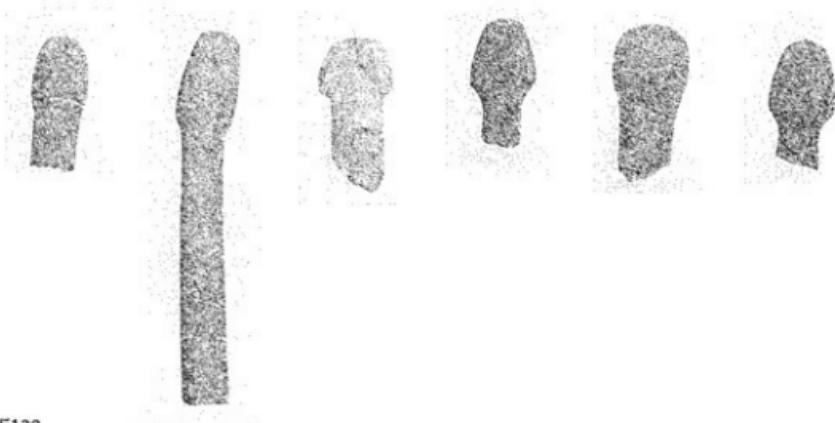
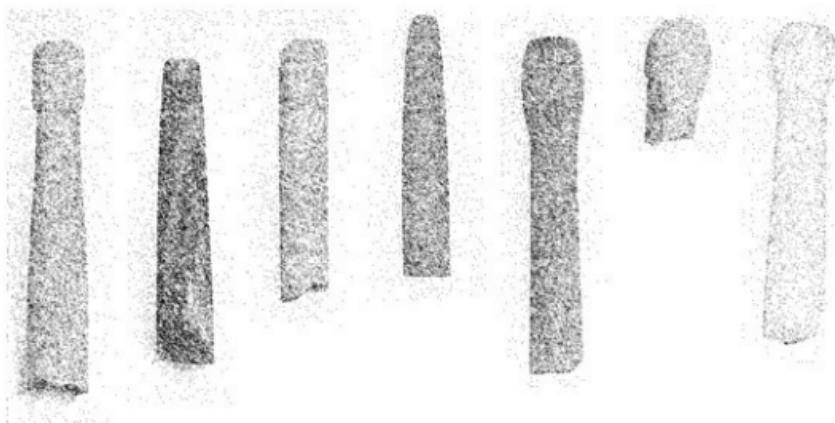
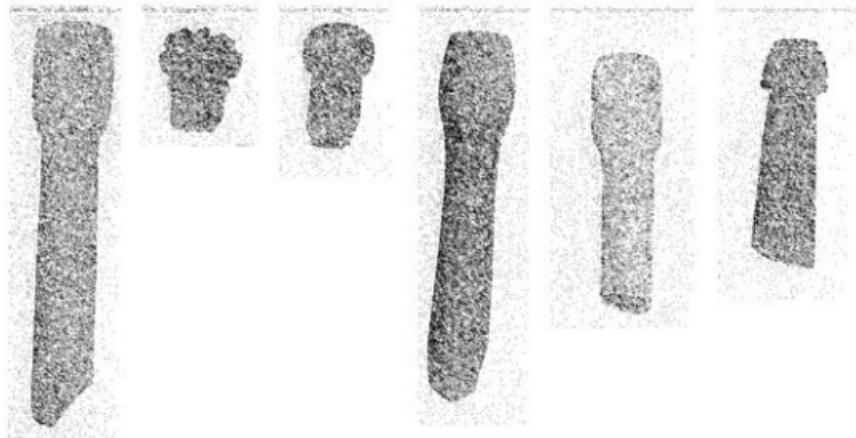
圖版135 遺構外出土石器



图版136 遗構外出土石器

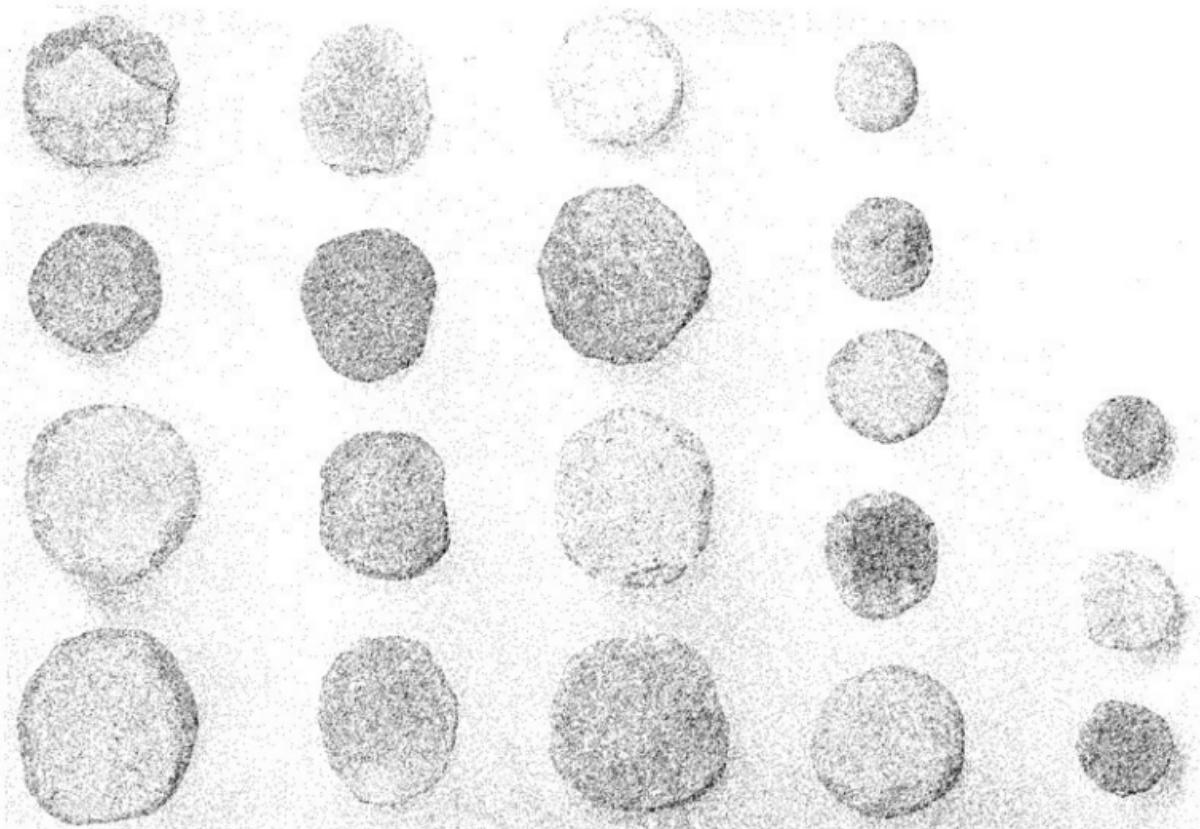


圖版137 遺構外出土石器



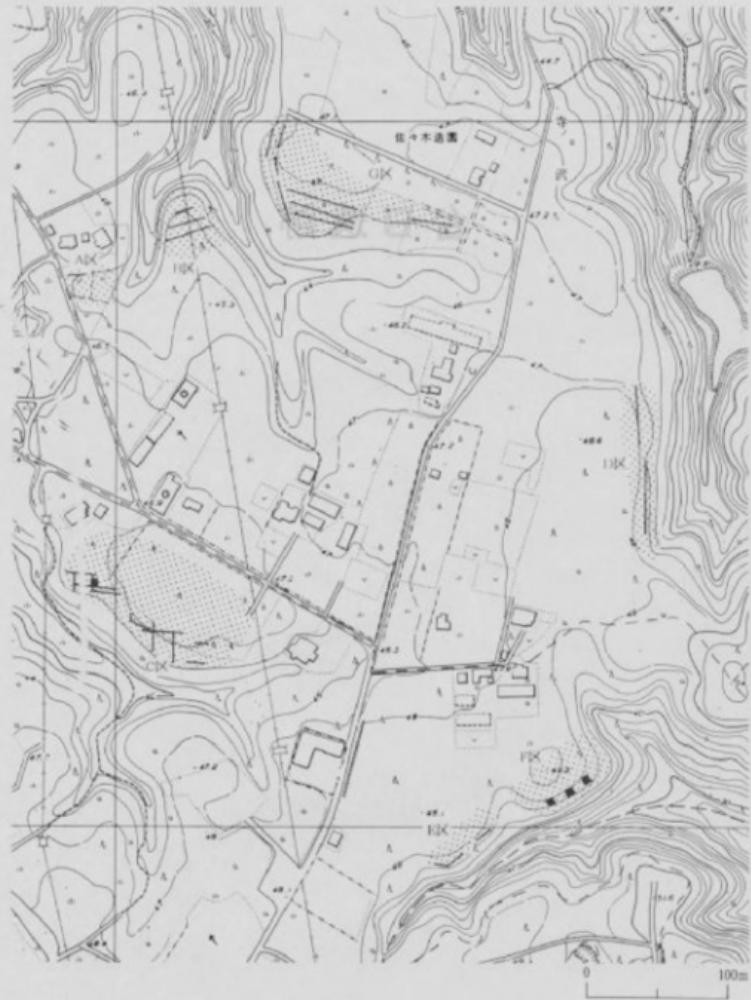


圖版139 漁構外出土石器



圖版140 遺構外出土石器

台 B 遺跡



第1図 通跡周辺の地形

遺跡の概観

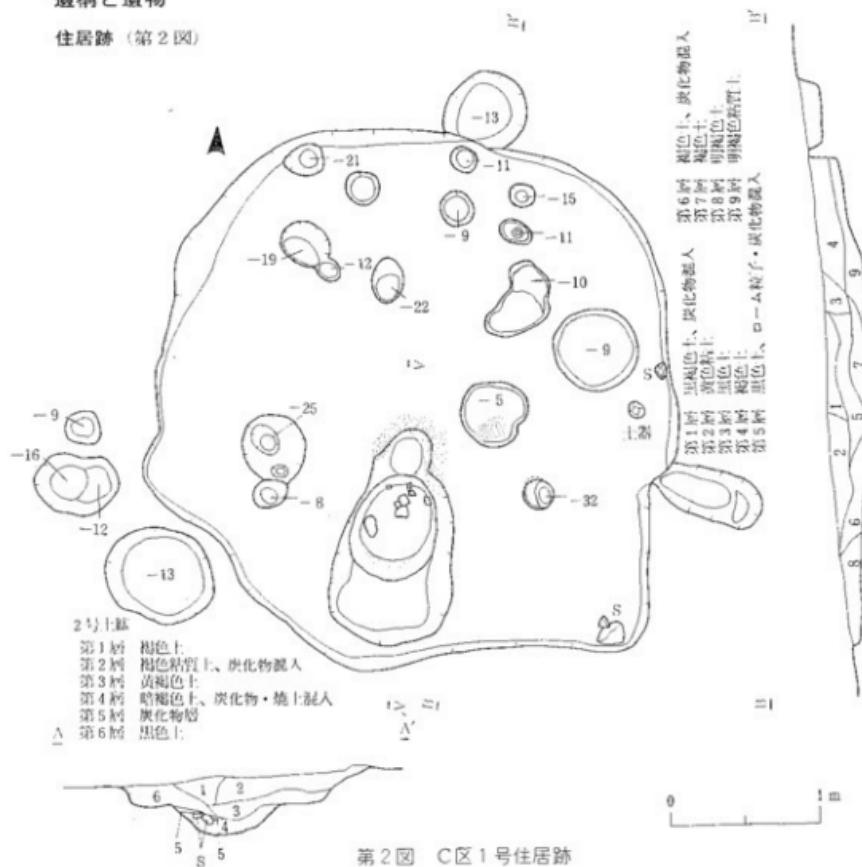
台B遺跡は国道13号線御所野三叉路から大曲方向に約600m南下すると上北手字岸村に通る道路が北に走る。遺跡はその道路の南側に張り出した小舌状台地にある。

調査経過

台B遺跡も含めた中北手地区は、これまで分布調査は実施していたが範囲確認調査は行われていなかった。今次調査では確認調査を兼ねて、A区からG区までトレンチによる調査を行い、遺構の確認と共に拡張することにした。その結果A・B・E-G区では少量の遺物の出土が認められたが遺構の検出はなかった。D区は全く遺物は認められなかった。C区は東西南北にトレンチを多数設定し調査した結果西側の狭小な台地から縄文時代中期末葉大木10式期の堅穴住居跡1軒、土塁5基が検出された。このC区が台B遺跡である。

遺構と遺物

住居跡（第2図）

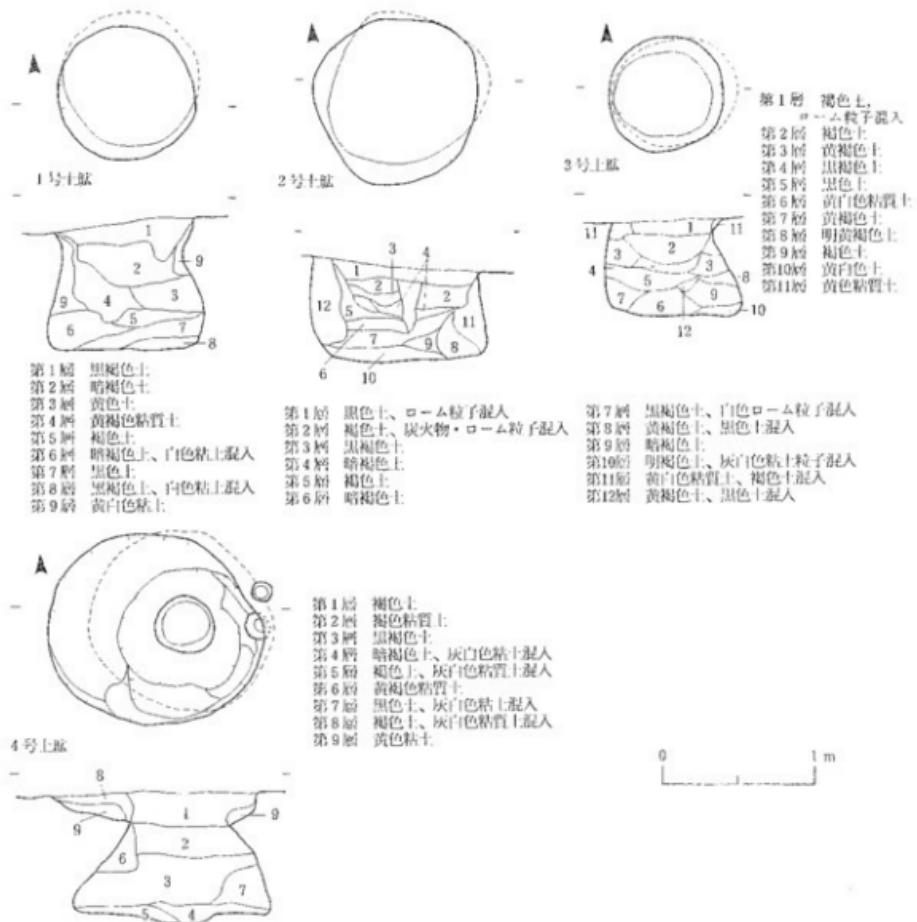


C区範囲確認トレンチで検出された。

プランは長軸3.6m 短軸3.4mの楕円形を呈する。確認面からの深さは12cmで壁はほぼ垂直に立ち上がる。南側にゆるく傾斜しており南壁は非常に浅い。ヒットは13個検出されており、土柱穴は対角線に並ぶ深さ10cm以上の4本である。炉は南側に位置しており、上器埋設部、掘り込み部からなる。複式炉である。土器埋設部の埋設土器は抜き取られて無い。周辺は火熱を受け赤変している。床面は平坦であるが軟弱である。

出土遺物（第5図1～3）

石器：1は磨製石斧であるが刃部は欠損している。2は削器・3は搔器と思われる。



第3図 土 塚

土 塚 一 覧 表

番 号	規 模 (cm)			平 面 形	断 面 形	出 土 遺 物	備 考
	長 軸	短 軸	深 さ				
1号土塚	90		84	円 形	袋 状		第3図
2号土塚	104		62	円 形	ビーカー状		"
3号土塚	74		62	円 形	袋 状		"
4号土塚	88		88	円 形	フラスコ状		"
5号土塚	70			円 形			第2図

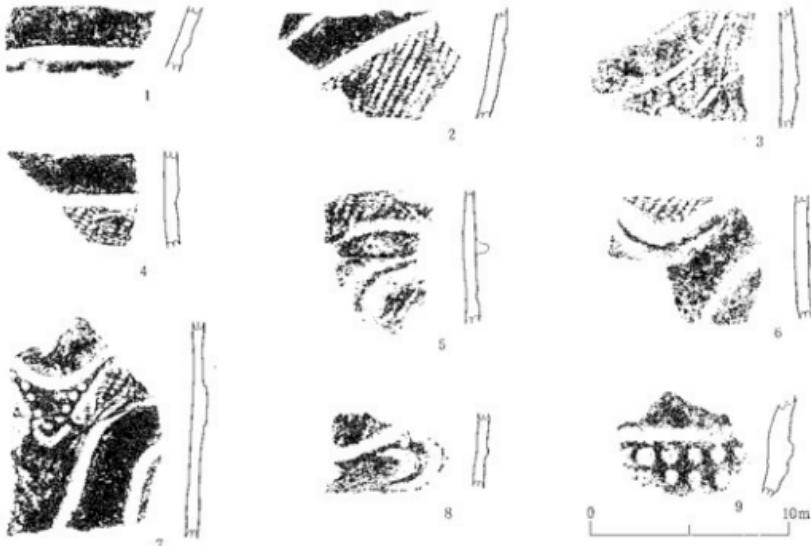
遺構外出土遺物

土器 (第4図)

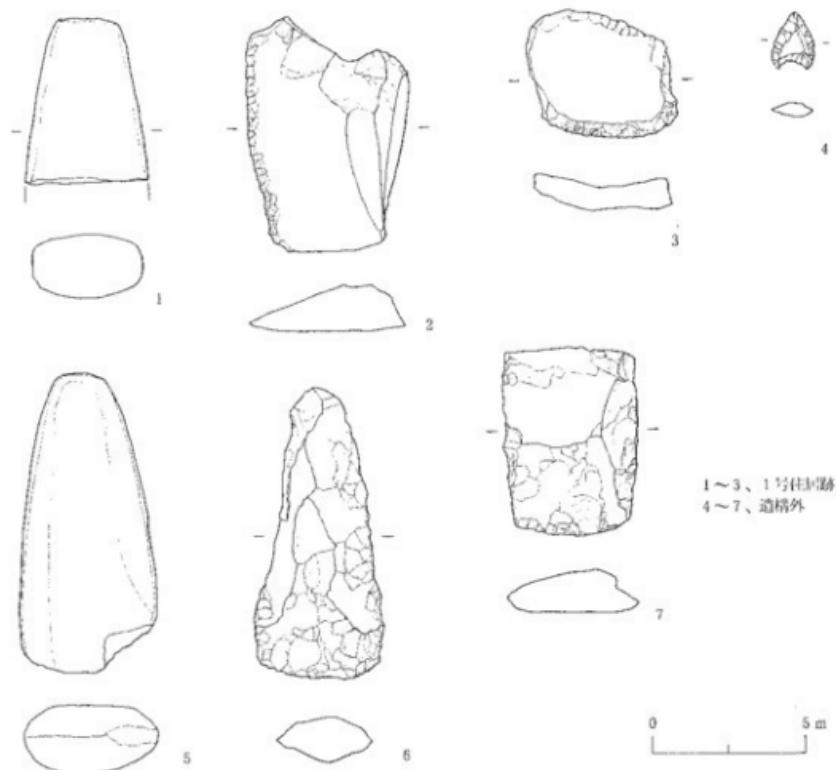
1～6・8は沈線区画の磨消し帶によって曲線的な文様を施している。7・9は沈線区画の磨消し帶で文様を施し、区画内に円形刺突文を施している。以上の土器は大木10式期に位置づけられるものである。

石器 (第5図4～7)

4は小形の無茎石鏃で貞岩製である。5は磨製石斧、6・7は石ベラ状石器である。刃部は両面剝離である。



第4図 遺構外出土土器



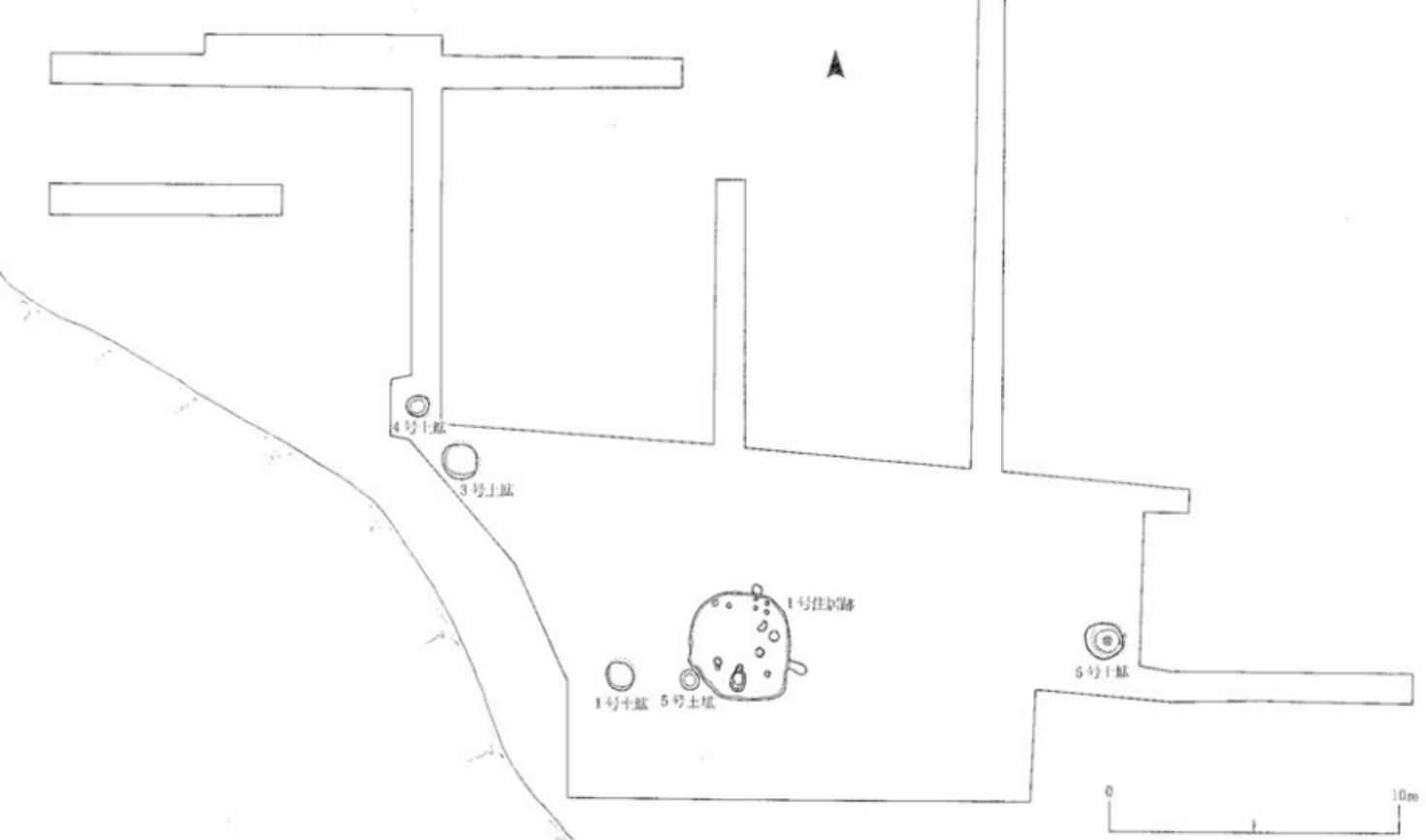
第5図 遺構内・外出土石器

まとめ

中北手地区はA区からG区までトレンチとグリッドを併用しての範囲確認調査を兼ねながらの調査となつた。結果的に遺構が検出されたのは台B遺跡としたC区だけである。台B遺跡では遺物、遺構の良好な広がりはみられず、結局堅穴住居跡1軒と数基の土塙だけであった。

住居は複式かをもつが埋設土器の抜き取り痕跡があり、埋設土器はない。床面から出土した土器から縄文時代中期末葉大木10式期のものであり、台B遺跡は縄文時代中期末葉の遺跡である。

本遺跡の南側には縄文時代中期末葉の台A遺跡、中期末葉、晩期の地方遺跡がある。台B遺跡についても、これらの遺跡との関連が考えられる。



C地区 遺構配置図

参考文献

この参考文献は280ページに入るものです。

- 秋田市教育委員会：「小阿地下堤遺跡・坂上遺跡発掘調査報告書」1976年3月
- 秋田県教育委員会：「湯出野遺跡発掘調査概報」秋田県文化財調査報告書第53集」1978年3月
- 葛西勲：「十腰内工式土器の編年の細分」北奥古代文化第11号 1979年11月
- 秋田市産業部、秋田市教育委員会：「秋田市上新城中学校遺跡」1980年3月
- 成田滋彦：「亀ヶ岡文化圏の葬制の諸問題(1)、(2)」1979、1980年3月
- 野口義磨編：「縄文土器大成一後期」1981年 満談社
- 秋田県教育委員会：「藤株遺跡発掘調査報告書」秋田県文化財調査報告書第85集 1981年3月
- 秋田県教育委員会：「平鹿遺跡発掘調査報告書」秋田県文化財調査報告書第101集 1983年3月
- 秋田市教育委員会：「秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書、下堤E遺跡、下堤F遺跡、坂ノ上F遺跡、堆崎A遺跡、湯ノ沢D遺跡、深田沢遺跡」1985年3月
- 秋田市教育委員会：「秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書、地蔵山B遺跡、台A遺跡、湯ノ沢I遺跡、湯ノ沢F遺跡」1986年3月
- 本田嘉之：「亀ヶ岡文化期における葬制」法政考古学第11集 1986年3月
- 高橋龍三郎：「亀ヶ岡式土器の編年」シンポジウム亀ヶ岡文化レジュメより 1986年3月



G区 トレンチ状況

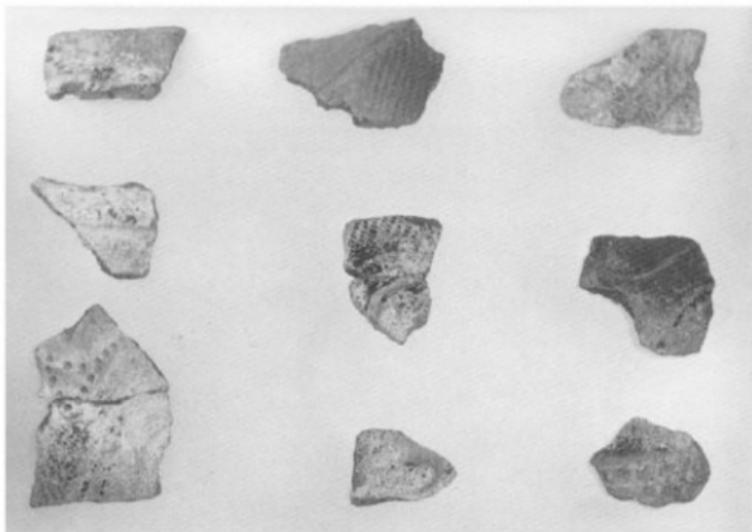
図版1



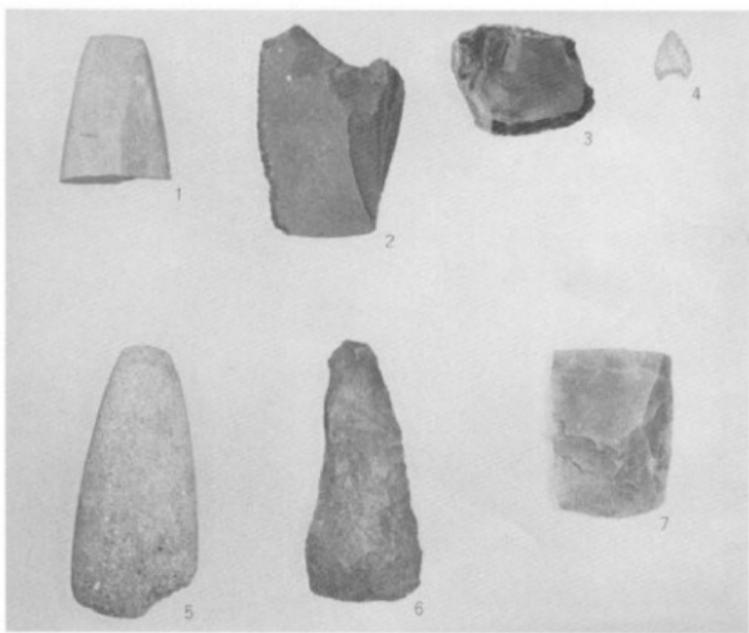
C区 通構検出状況



C区 住居跡
図版2



遺構外出土土器



遺構内・外出土石器
図版1

1～3 住居跡
4～7 遺構外

正誤表

ページ	行	誤	正
7	8	〈内容〉 土○墓	土地墓
タ	21	〈所在地〉 上北手御所野字野畠	上北手御所野字野形
48		第33図 5号掘立柱建物跡・1・2	第33図 5号掘立柱建物跡
131		第82図 遺構内出土器	第82図 遺構内出土土器
133		第84図 タ	第84図 タ
135		第86図 遺構内土石製品	第86図 遺構内出土石製品
137		第88図 タ	第88図 タ
139		第90図 タ	第90図 タ
141		第92図 タ	第92図 タ
143		第94図 タ	第94図 タ
29	8	土製品	土製品
タ	15	遺物包含物	遺物包含層
27	11	さらに地墓	さらに土地墓

秋田市
秋田新都市開発整備事業関係
埋蔵文化財発掘調査報告書
昭和62年3月

発行 秋田市教育委員会
印刷 株式会社三戸印刷所
